



Terima kasih! Soffianna

山田 桜来

研修前、学校交流でバディと過ごせると知って、私はプレゼントを買いに行った。イスラム教徒の方が多い国だから、犬や豚のイラストは避けて日本らしい物を…とワクワクしながら選んだ。

当日私を待っていてくれたのは、お洒落なヒジャブを被った素敵な笑顔の、日本好きの女の子、ソフィアーナだった。部活や学校について、英語と身振り手振りで話した。彼女も日本に関する知識があったからこそ通じる話もあって、全く違う環境で生活している異国の女子中高生同士、自分と違っても理解しようとする姿勢があれば、国際交流を通じて色々な文化に触れられるし理解し合えるのだと実感できるひと時だったと振り返って思う。

民族や人種などで分ける前に、「相手」と「自分」、驚いたり警戒したりする前に、相手の文化や慣習を知っておくだけで、理解が深まり喜びに繋がる。これこそ世界の平和の礎になるのではないだろうか。

また、今回の訪問を通して、世界は広くて色々な道があることを実感した。体調不良で辛かった時にある先生が私に言ってくれた「世界はとても広くて、普通なんて何通りもあるし、何度だってやり直せる」という言葉を本当に理解できた気がした。

私の英語力不足のせいで、ソフィアーナの話も分からない部分があったし自分の伝えたい思いを伝えられなかったことが、本当に悔しかった。

ソフィアーナ、もっと英語を話せるようになって、また会いにマレーシアに行くね。